

子ども・子育て支援に関するニーズ調査 結果概要

東広島市
平成26年3月27日

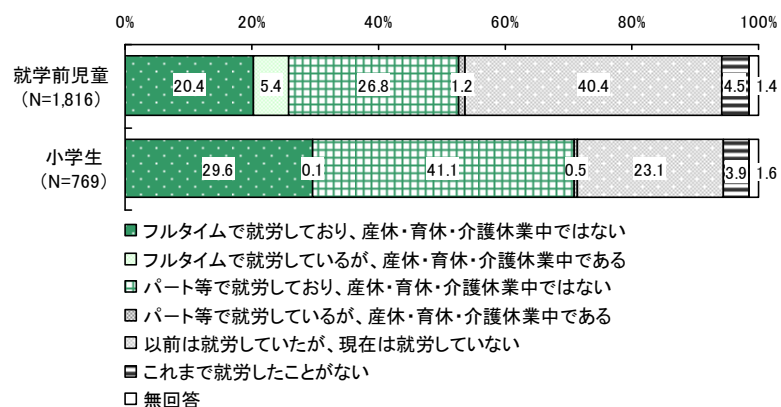
■ 調査の概要

	就学前児童	小学生
調査地域	市内全域	
調査方法	郵送配付・郵送回収(はがきによる督促1回)	
調査時期	平成25年12月13日～平成25年12月25日 (平成26年1月21日回収分までを含む)	
対象	0～5歳の児童がいる世帯	1～3年生の児童がいる世帯
調査票対象数	3,500世帯	1,500世帯
調査票回収数	1,824票	776票
回収率	52.1%	51.7%

■ 調査結果

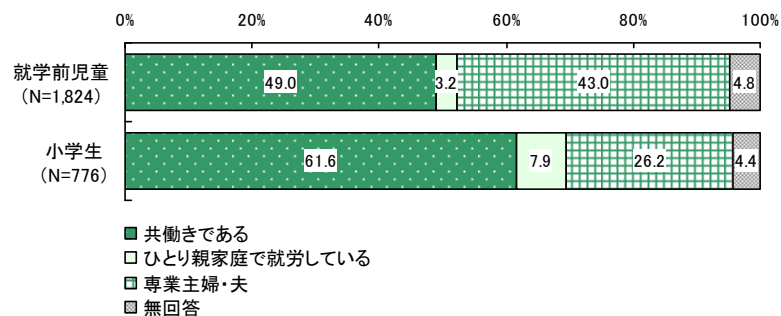
1 母親の就労状況

- 就労している母親は就学前児童で53.8%、小学生で71.3%



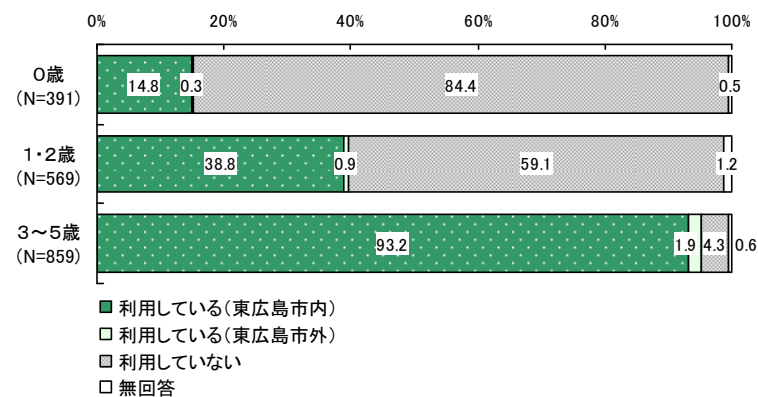
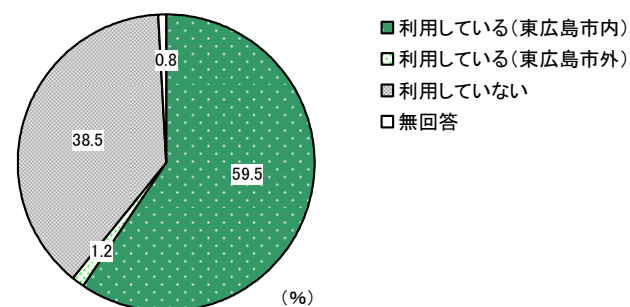
2 共働きの状況

- 両親が共働きの家庭は就学前児童で49.0%、小学生で61.6%



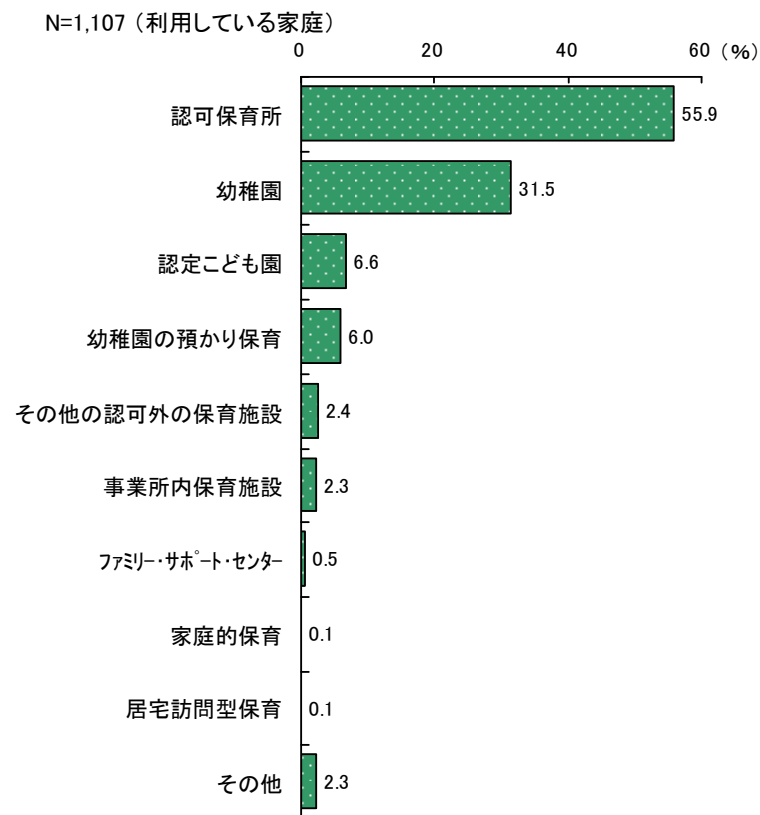
3 定期的な教育・保育事業の利用状況(就学前児童)

- 利用している割合は、60.7%であり、年齢別にみると、0歳は15.1%、1・2歳は39.7%、3～5歳は95.1%



4 利用している事業(就学前児童)

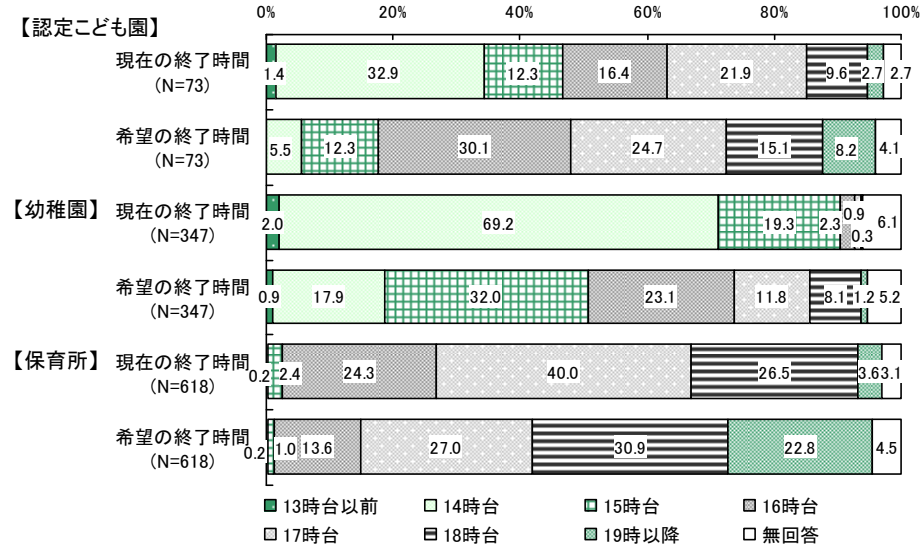
- 利用している事業の上位は、認可保育所が55.9%、幼稚園が31.5%、認定こども園が6.6%



5 現在の利用時間と希望の利用時間(就学前児童)

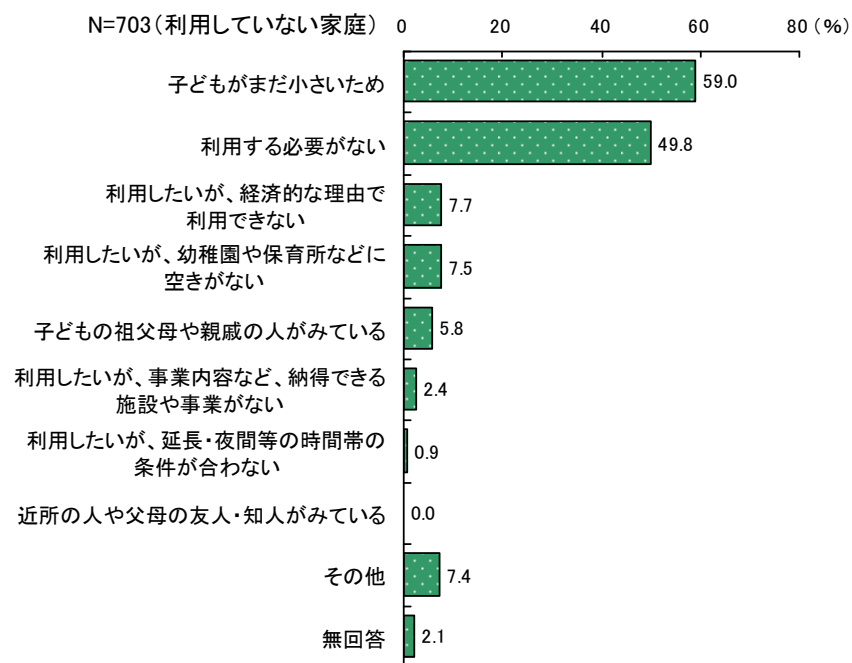
- いずれの事業も、希望の終了時間は、現在の終了時間よりも、遅い時間帯の割合が高い

(利用している家庭)



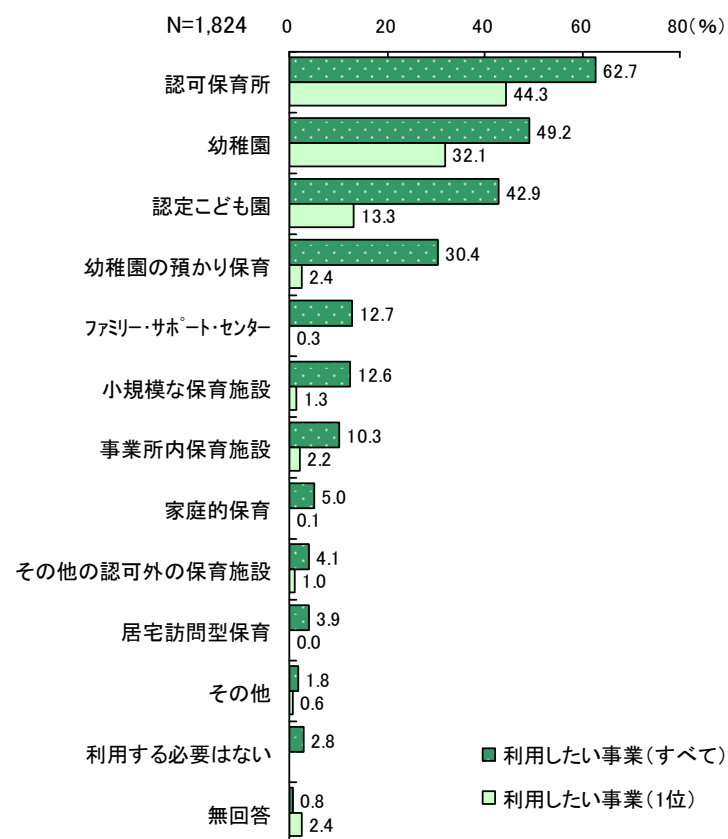
6 事業を利用していない理由(就学前児童)

- ・「利用したいが、経済的な理由で利用できない」(7.7%)、
「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」(7.5%)との、
利用したい意向があるが利用できていない回答があがっている



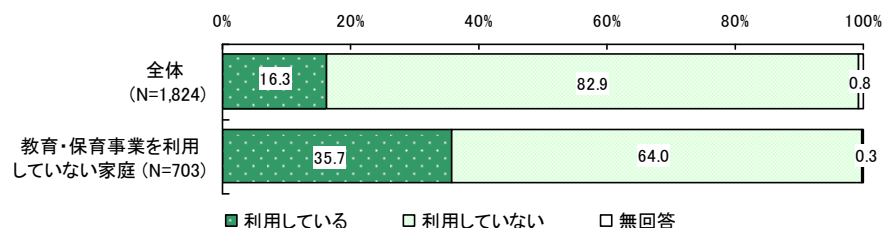
7 利用を希望する事業(就学前児童)

- ・ 利用したい事業の上位は、認可保育所が62.7%、幼稚園が49.2%、認定こども園が42.9%(当てはまる事業すべて)



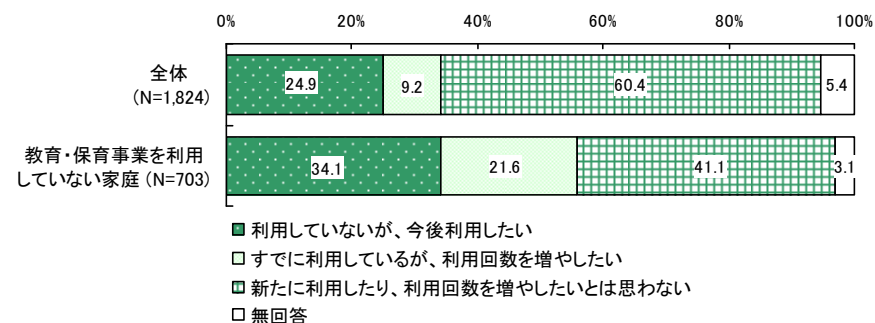
8 地域子育て支援拠点事業の利用状況(就学前児童)

- 現在利用している割合は、全体で16.3%、定期的な教育・保育事業を利用していない家庭で35.7%



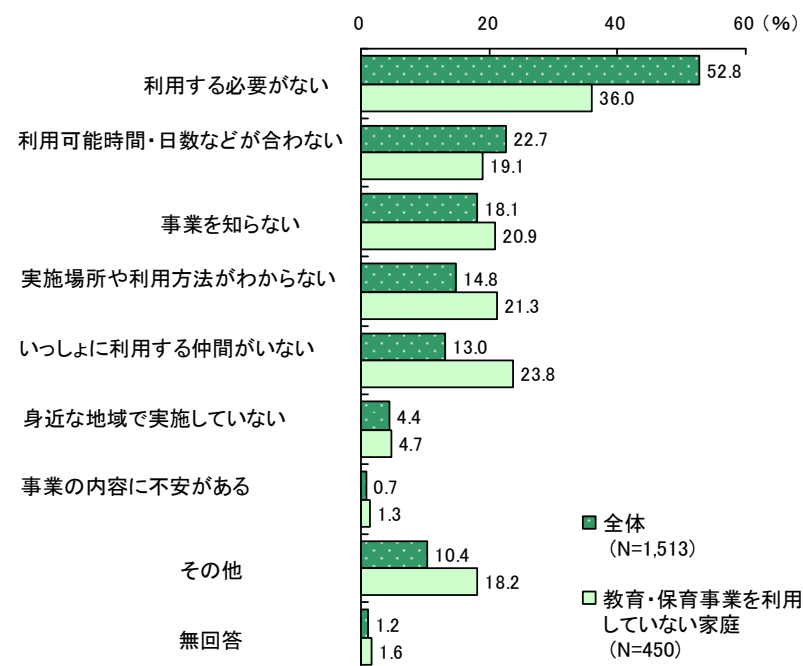
9 地域子育て支援拠点事業の利用意向(就学前児童)

- 今後新たに利用したい意向がある割合は、全体で24.9%、定期的な教育・保育事業を利用していない家庭で34.1%



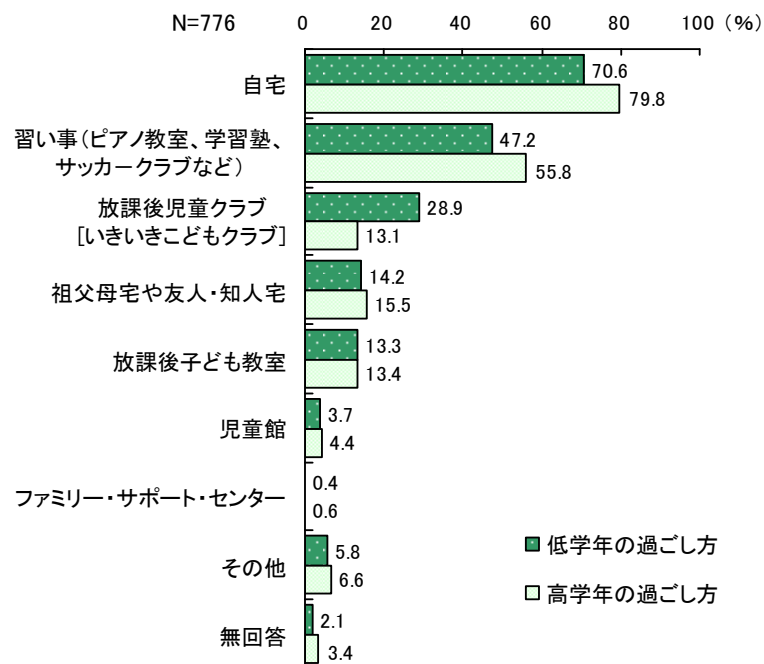
10 利用していない理由(就学前児童)

- 地域子育て支援拠点事業を利用していない理由として、「利用する必要がない」を除くと、教育・保育事業を利用していない家庭で、「いっしょに利用する仲間がいない」(23.8%)、「実施場所や利用方法がわからない」(21.3%)、「事業を知らない」(20.9%)の割合が高い



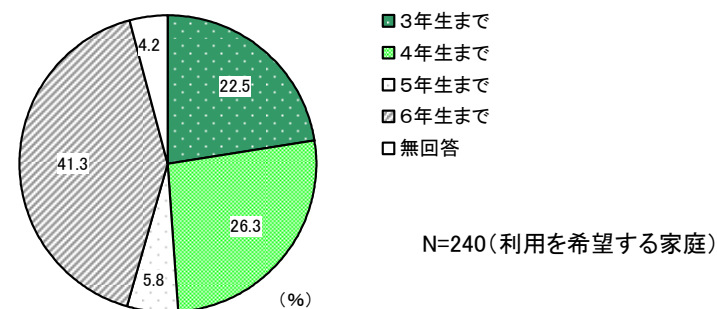
11 放課後に過ごす場所の希望(小学生)

- ・「放課後児童クラブ[いきいきこどもクラブ]」と回答した割合は、低学年のときで28.9%、高学年のときで13.1%



12 放課後児童クラブの利用学年(小学生)

- ・放課後児童クラブを利用したい学年の希望は、「6年生まで」が41.3%



13 平日・土曜日の利用希望時間の希望(小学生)

- ・放課後児童クラブの18時以降の利用意向について、利用を希望する割合は、平日で43.4%、土曜日で16.7%

N=240(利用を希望する家庭)

